

平成28年度第2回県南広域振興圏地域協働委員会議での委員の意見に対する対応状況等

資料No.5

No.	御 意 見		対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容		担当部	内 容
1	学生時代に地元の企業に触れる機会をもっと増やし、地元企業の良さを知ってもらう場を作っていけたらいいのではないかと感じている。		経営企画部 (人材育成労働G)	小中高校が行う工場見学や出前授業等の支援を行うほか、当局作成の「いわて県南広域企業ガイド」を県南管内の高校に配布するとともに、県のホームページに掲載し、スマートフォン等でも見ることができるようにしております。また、地元高校生に地元企業を知ってもらうためのセミナー等の開催について、各市町及び公共職業安定所等と連携して取り組みを進めているところです。 上記に加え、今年度は県外に進学した大学生等の地元企業の見学会・情報交換会を実施いたします。
2	ものづくり産業において、例えば単純な重労働の部分をロボットを活用し、それ以外のスキルが必要なところは人がやるのか、そういう役割分担ができれば、若い人達も勿論必要だが、60歳、65歳になっても働けるのではないかと感じている。		経営企画部 (ものづくりG)	来年度、主にもものづくり企業を対象としてIoTの導入に向けたセミナーを開催するなど、企業の省力化や生産性向上のための支援に取り組んでいきたいと考えています。
3	台湾と交流する機会をもっと作ってほしい。また、観光施設だけでなく、旅館や交通機関、受け入れる施設の総合力がないとなかなか来県者を伸ばすことは難しいと思うので、総合的なアプローチについて協力願いたい。		経営企画部 (観光商業G)	盛岡局とも連携しながら、人との交流、物産の関係、教育旅行なども含めて広く取り組んでいきたいと考えています。
4	今年度のクラブツーリズムへの取組のように各旅行会社の優位性をとらえながら、今後も岩手県情報を発信していけば、岩手県への誘客も増えるのではないかと感じている。		経営企画部 (観光商業G)	情報発信については、観光客層を意識した方法で推進していくこととしています。 引き続き、4月に開業した「道の駅平泉」の活用を含め、効果的な情報発信方法を検討し、更なる誘客につなげていきたいと考えています。
5	台湾では日本料理がすごく人気があるようなので、食のアプローチもとても良いと思う。		経営企画部 (食商業G)	県では台湾における商談会開催等を通じて、県内事業者の加工食品等の販路開拓に努めているところです。 今後におきましても、管内市町や事業者と連携しながら、台湾市場における更なる販路開拓に取り組んでいきます。

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担 当 部	内 容
6	台湾から岩手にきていただいた時に、もう少し個別に回れるような対策があってもいいのではないかと思います。細かいツアーの提案が出来れば、若い層にももっとアプローチできるし、この地域はそういうことが出来るのではないかと。	経営企画部 (観光商業G)	台湾のエージェントにも様々なコース提案をしていきたいと思 いますし、この地域の強みである南部鉄器なども見ていただ けるような機会も設けるなどして、コースのバリエーションを増 やしてPRしていきたいと考えています。 4月には県南圏域を周遊するモデルコースを掲載した台湾向け パンフレットを発行し、今後、台湾での物産展、商談会等で活 用していきます。
7	農業政策について中山間などのようにある程度の期間、最低で も5年くらいの期間、見通しをもって経営計画が作れるような 安定性が欲しい。そのうえで、企業体の経営能力アップ等につ いて支援いただきたい。	農政部	農業政策については、引き続き将来を見通しやすい安定的な政 策を要望していきます。 また、経営力の向上については、県南版農業経営者サミットな どを開催しながら、企業体の形態や発展段階に応じたきめ細か な支援をしていきたいと考えています。
8	銀河のしずくについては、作る意欲が湧くような+αが欲しい という話もあるので、検討してほしい。	農政部	「銀河のしずく」については、日経トレンドイ主催の「米の ヒット甲子園2016」で大賞を受賞するなど、高い評価を得てお り、県でも生産販売の推進に力を入れているところであり、生 産者や関係機関・団体と一緒に育てていかなければならない品 種であると考えおります。 今後も、消費者からの評価をさらに上げるPR活動を行い、売れ る品種としての定着を図りながら、魅力のある品種として育て ていきたいと考えております。
9	松くい虫の被害等により樹種転換を行う際、作業道の確保や、 高性能林業機械の導入が必要となるので、補助制度がきれいな ようをお願いしたい。また、カラマツの苗木については不足す る事態がないようにしてほしい。	林務部	松くい虫被害対策をはじめとする伐採に必要な作業道や高性能 林業機械については、今後も、補助事業等の活用を進めるな ど、県もバックアップしたいと考えています。 カラマツの苗木については、種子の確保を行うなど、今後も 不足しないように全県的に取組んでいきたいと考えています。

No.	御 意 見	対 応 状 況 ・ 対 応 方 針	
	内 容	担当部	内 容
10	原木しいたけの生産再開については、生産者の多くが高齢者なので、これからまだ解除までに時間がかかるとなると意欲も下がってしまうと思う。生産を再開出来ている所もあるが、消費者もまだ不安の方が先にたっているのが現状なので、もっと効果的な方法はないかと思っている。	林務部	原木しいたけの生産再開支援については、応援隊を作って生産者をまわっており、生産者が意欲を失わないように細やかな対応をしていきたいと思い進めているところです。生産者が面倒だなと思うところを県が支援できないかということを考えていましたので、一緒になってやっていきたいと思います。また、県庁の原木しいたけPRの取組や地域の農業まつり等での試食の提供といった、消費者に好評な取組について、さらに進めていきたいと考えています。
11	障がい者に対する虐待について、通報に係る周知や支援技術の向上にあわせて、基幹型相談支援センターの設立に向けて、ふみ出して欲しい。	保健福祉環境部	基幹型相談支援センターは、市町が設置することになりますので、いただいた御意見を伝えるとともに、取組み状況等について把握するなどして、基幹型相談支援センターの設立に向けて支援していきたいと思います。
12	林業や農業、畜産業に加えて、水産業も何か後押しできることがあるのではないかと。県南局では水産関係の取組はあまり聞かないが、もう少しアプローチできる場所もあるのかなと感じている。	—	他の産業と併せて水産分野へのアプローチを行うなど、何ができるか、考えていきたいと思います。
13	再生エネルギーについて、これからは小規模で発電する、力を得るとい、守るだけでなく生かすという取組が大切になるのではないかと。それぞれの地域にあった、リスクが少ない形のものを取り入れていければいいのでは。	保健福祉環境部	再生エネルギーについては進めていかなければならない重要な分野だと思います。花巻では木質バイオマス発電(花巻バイオマスエナジー)を平成29年2月から稼働しており、他にも管内の各地で色々な動きがありますので、関係する制度の活用等について周知するなどして、小規模な再生可能エネルギーについても推進していきたいと思います。